



表紙は語る

## 変わる新島村と 繋がる議会

7月7日10時より『議員と一緒に考える会・観光関係者編』を対面とオンラインの併用(ハイブリッド)で開催しました。3名の議員が、配布されたタブレット端末を用いて自宅から参加し、6名の議員と産業観光課の課長・係長が住民センター2階の集会所から参加しました。ほか新島村観光案内所の職員3名(10ページより関連記事あり)と、式根島観光協会事務局長もオンライン参加してくれました。1時間半に渡って、新型コロナウイルス感染症の終盤ならではの対応と、回復が見込まれる夏期集客体制、各種交通手段の対応などについて情報共有を行いました。(文/木村諭史、写真/宮川貴司)

- 2…一般質問
- 7…議長の目ランド
- 9…特集  
議場システムについて
- 10…スピーカーズコーナー
- 11…information 編集後記

# 一般質問



小久保 利佳 議員



老朽化の著しい  
管内施設の  
建て替えについて

**問** 役場庁舎、新島・式根島保育園、診療所は老朽化が進んでいる。東南海地震発生後にも行政機能を担保しなければならぬ。新島村公共施設等総合管理計画では「統合集約化も視野に入れた検討をする」となっているが、現在の検討状況と見解は？

**答** 高度成長期に整備された役場庁舎が築57年、新島

・式根島保育園がそれぞれ築50年と51年、本村診療所が築46年となっている。今後、年度ごとに事業に振り分けられる一般財源を把握しながら、整備計画を立てた上で取り組んでいく。(村長)

運営委員会等を組織し、村有財産の有効活用に関する協議を行い、各所管部局において所管する財産の総合的な管理に必要な情報を把握し、維持管理、長寿命化に関して営繕部門、財政部門等と連携しながら庁内で共有する。

建て替えの検討を迫られている役場庁舎、新島保育園、本村診療所について、関係部所て話し合いがもたれており、旧新島中学校跡地利用等、移転も含めた計画の準備に入り、今後は検討委員会を立ち上げながら、整備計画を立案していく予定。現時点で今後改修等に見込んでいる経費は合計447億円の試算と

なる。(企画調整室長)

**問** 一刻も早い村長の検討委員会の立ち上げの決断を。大災害から村民を守り、村長はじめ村職員の職場環境、DXへの対応、業務の集約化、診療所や保育園との、複合化・集約化した総合庁舎への検討。財源はどのようにするのか。

**答** 関係先、国も東京都にも相談に乗ってもらっている。まず住民サービスの直接かかる方を優先的に考えるが、いろいろ議論するところである。(村長)

**問** 職員も新島村民である。替えの効かない非常に重要な人材である。先進的なPPP<sup>※1</sup>やリース方式<sup>※2</sup>、公募プロポーザル方式<sup>※3</sup>など先進的なことも検討に加えていただきたい。



海洋漂着ゴミについて

**問** 海洋漂着ゴミは近年増え続けている。集積や回収のルールを統一化することはできないか。

**答** ビーチクリーンの際の集積や回収は行っていない。集積したゴミは全て分別して、焼却施設や処分場への持ち込みをお願いしている。集積場での回収は行わない。ビーチクリーン活動については現在、産業観光課で手軽にビーチクリーンに参加できるように仕組みづくりを、実施に向け検討している。

**問** 現在、間々下海岸に丸石を積み上げて囲った場所があり、ゴミが溜められ、不法投棄を助長する可能性も懸念される。集積・回収のルールづくりと看板の設置や周知活動をしてほしい。

**答** 間々下の現在の現状は確認して把握している。今後ビーチクリーン活動をしている方にヒアリングをし、どのようにするか協議していこうと考えている。(産業観光課長)



▲オーシャンガーディアン新島によるビーチクリーンの様子。オーシャンガーディアン新島では月1回のビーチクリーンを実施していく予定。

※1：PPP (Public Private Partnership) 行政と民間が連携して、公共施設やインフラ整備を行う考え方。

※2：リース方式 施設とサービスをリース契約で利用する仕組みのこと。

※3：公募プロポーザル方式 業者の参加を公示により広く募集し、技術提案書や企画提案書などにより契約締結交渉者を選定する方式。



一般質問



綾 享 議員

**式根島でも専門診療を実施し、それぞれの島で医療を受ける機会の確保を！**

**問** 昨年12月定例会で取り上げ、住民からの要望もある。村長は、どう受け止めるか。

**答** 医師からも（式根島の）患者は20〜30人ほどおり、連絡船での移動は受診を躊躇（ちゆうちゆう）するとの報告がある。負担をかけている。何とかしようと努力している。（村長）

**問** 昨年の答弁は、「大変迷惑をかけている」「ニーズには応えたい」と、改善への思いが感じられる答弁だった。診療所事務長が交替したが、引継ぎされているか。その後の専門診療の状況は、代船の影響もあり式根島からの受診者が極めて少ない。式根島でも実施した心療内科は、本村と同じぐらいの受診者がいた。式根島で実施する困難な要素は何か。

**答** 引継ぎは受けている。専門診療の実施は、医療機関と協議しながら随時検討していく。来島・帰京のタイミング（交通機関等）を含め、医師等の人材確保が一番重要だ。検査機器類の設置も課題。（事務長）

**問** ニーズに応える具体的な対応が必要だ。

**答** 関係医療機関と協議し、式根島への医師や医療スタッフの派遣が可能かどうか検討したい。（事務長）

**問** 必要な医療の機会を確保するため、式根島での専門診療の実施を強く求める。

**答** 東京都に「一村二島」の状況を伝えていく。しっかりとやっていく。（村長）

**学校給食無償化の早期実施を！**

**問** 学校給食の無償化を求める質問は4回目だ。この間の質疑で、法律や制度に関し双方の理解が進んだ。小さな自治体から始まった無償化は東京23区中16区が実施・表明となった（6月24日現在18区に増加）。

**答** 継続的に実施する施策

であり、自己財源を含め模索している（前回答弁で予算の0・2%、700万円が必要とされた）。

**島外受診、助成は年齢制限撤廃を！**

**問** 2019年1月実施で、住民の評価も良好で定着している。一日も早く全住民対象の制度への改善が求められている。村長自身も最初に掲げた課題ではないか。

**答** そのとおりだ。そうしたいと考えてきたが、財源がネックとなり足踏みしている。

**問** 4年半が経つが、年齢制限は改善されていない。今春より島しょ町村会会長に就任したが、東京都への要望など、今後の展望・決意はどうか。

**答** 4年半が経つが、年齢制限は改善されていない。今春より島しょ町村会会長に就任したが、東京都への要望など、今後の展望・決意はどうか。

**代船運行する船舶を村として保有を！**

**問** 毎年のにしきドック時の状況や、この度の座礁を受けての長期間にわたる代船運行の現状から、村民にとって、より安全・快適かつ安定的運行が必要との立場から、村として適切な規模の船舶を購入・保有すべきではないか。

**答** 乗船定員が少なく迷惑をかけている。村として保有を含め検討を重ねてきた。現在は保留。

**問** 年末からエンジン開放整備で3ヶ月間のドック入りが予定されている。具体的検討を進めるよう求める。

## 一般質問



吉見 一之 議員



### 新島村の漁業について

**問** 新島村の漁業の現状として、漁獲高は減少の一途であり、高齢化が進み慢性的な後継者不足のため、生産力も大幅に低下している。このままでは新島村から漁業が無くなってしまうことも考えられる。後継者不足となる主な要因は、漁船・漁具の高額な維持経費等が最も大きく、今後行政の支援が必要と思われる

が、このことについて村の方針等を伺いたい。

**答** 新島の漁業の現状は村でも把握しており、関係機関等とも話し合いを重ねているが、組合からの具体的な要望が無ければ村としても動きようがない。また、漁業者の個人経営に行政が直接補助を実施する制度は今のところないが、船舶の新規購入等に関する補助制度は東京都が漁協を介して実施している。

**問** 昨今の漁業不振の最大の原因は、漁業生産力の低下であり、高齢化が進むなか後継者が圧倒的に少なく、併せて漁船も減少し続いている。そういった現状を鑑み、漁船の維持に係る費用の支援を行うことで漁業経営の負担を軽減し、後継者の増加も促すことになり。また減少した水産資源

の回復と、比較的容易に漁獲できるような新規資源の開発も必要である。村長にはこれらの支援を東京都に要望していただきたい。このことは新島のみならず島の漁業全体の問題でもあることから、他の島々や都漁連等とも連携し、実現に向け取り組んでもらいたい。

**答** 村としてもできる限りのことはやっていきたいと思う。まずは漁協と協議し、具体的な対策を考えることから始めたいので議員も協力してほしい。



### 観光スポットの改修等

**問** 石山の高峰展望台からポルタックに続く道は、道路の損傷が激しいため修復が必要と思われる。また、

その他の観光スポット等についても、同様に計画的な改修予定など伺いたい。

**答** 調査したところ、危険な箇所がいくつかあり、予算等を調整しながら計画的に修復していきたい。

【独り言】漁業に関しては、村長も心配していることが伺え、力強い「快答」が得られたものと思う。また皆さんの記憶からは薄れてきていると思うが、「大島の噴火」「新島沖地震」「三宅島の噴火」の際、いち早く住民の避難に貢献したのは地域の漁船であり、島に住む我々は「いざというとき」漁船等の船舶に頼らざるを得ない。船舶はあくまでも個人の資産だが、同時に島の財産でもあることをご理解いただきたい。



▲見るだけで心動かされる風景。多くの人々と共有したい。

## 一般質問



前田 勝利 議員



広報に求められる役割について

**問** 広報は、「まちづくりの総仕上げ」であると言われる。たとえどんなにすばらしい「政策」を組み立てても、それを住民に伝える公報でつまずいたら何にもならない。行政の住民に対するさまざまな情報提供は必ず広報を使うので、どうやったら伝わるのか、広報は行政側の一方的な情報発信ではな

く、住民との関係性を築くことが必要。

働き方が多様化している現在、リモートワークやワーケーションなど、場所にとらわれない働き方が進んでいる。そのような状況下において、移住・定住・観光・企業誘致などを促進・活性化するための自治体広報の推進が求められるようになったが、村の広報戦略をどのように考えているのか示してほしい。

**答** 広報に求められる役割として、第一に住民に正確な情報を伝えること、そして地域におけるさまざまな情報を島内外に発信することだと考えている。また、情報に関しては誰に向けて、どのような情報を発信するのが重要。昨年度から各メディアを活用し、観光客誘致、移住定住に繋がる新島・式根島の魅

力を発信、ワーケーション番組の制作、地域おこし協力隊等の募集を行い、テレビ・ラジオ・SNS等の電子媒体・新聞・雑誌・広告等の紙媒体、CD・DVD等の記録媒体等の作成を通じて、対外的な事業を行っていることを住民にも伝えていく。今後も社会情勢を考慮し、効果的な情報発信に努める。

**問** 連絡船にしきの事故後の情報やいつから運航が再開できるのか、住民や観光客の皆さま方に情報提供がなされていない。連絡船は生活路線なので、仕事・通学・観光などに大きな影響を与えている。今現在わかる範囲での情報提供が必要だと考えるが、いかがか。

**答** 今週中にある程度のこととがわかると思うので、ドッグの情報などを収集し、

住民の皆さまに情報を提供したい、もう少し待ってほしい。



◀「広報にいじま」と「議会だより」。どちらも広報誌の役割は住民との信頼関係を築くこと。

## 議会を見よう!

ご自宅のパソコンやスマートフォンでカンタンに議会中継を見ることができます(最新議会のライブ中継はもちろん、過去の議会映像、議員ごとの答弁映像がご覧いただけます)。



### スマートフォンの場合

QRコードリーダー(カメラ機能)で、左の画像を読み込むだけ!



### パソコンの場合

インターネットで「新島村議会 中継」で検索!

新島村議会 中継 🔍



## 一般質問



大沼 由美子 議員

**温泉安定供給のための定期的なメンテナンスの必要性について**

**問** 島内の温泉施設は、観光客だけでなく島民にも人気があり、日常的に利用されているが、年に数回、「ポンプ不良等」で利用不可になる。その間、旅先での「温泉」を楽しむに来島している観光客の落胆はより大きい。加えて、既に昨年度よりスタートしている都の事業「東京宝島サステナブル・アイランド創造

事業」では、島外企業や観光客の誘致等が大いに期待されており、温泉施設の利用増加も予想される。利用不可を回避するためにも、定期的なメンテナンスの必要性や対策は。

**答** 現在の井戸は平成28年から稼働している。ポンプ交換時の温泉利用の休止を回避するため、古い井戸との併用を計画していたが、内部の腐食等により冷水が混入して温度が低下し、併用が不可となった。その後は、基本的に3か月に1度ほど、井戸ポンプの定期的な交換作業を実施している。そのため、作業当日は温泉の利用休止となる。事前に定時放送やSNS等で、その旨周知案内し、協力をお願いしている。

## 島外出身職員の住宅問題について

**問** 良質な行政サービスには有能な職員が必須である。離島という特殊な環境のもと、「住まい」は生活の質を左右する大きな要因と言える。人材確保の観点からも、島外出身の職員の住居については、配慮が必要と思われる。

**答** 職員住宅不足のため、民間の借家入居もあるなか、それら「住居の格差」が業務へのモチベーションの低下や離職、延いては貴重な人材の流出にも繋がりがかねない。実情と、入居優先条件等の公平性についてお聞きしたい。

**答** 6月1日時点での職員住宅入居者は22名。民間の借家利用者は7名。借家の家賃補助は新島村条例に則

り、支給されている。メンテナンス等については、状況により村で対応する場合もある。入居希望の優先度や決定の公平性は、現在は空いている住宅に順次入居させている状況である。

## 教職員の育休取得に伴う教育現場の状況について

**問** 「育休制度」は、少子化対策の一環として政府も大いに推奨しているが、教員不足や代替教員の未配置等の教育現場の混乱も懸念される。

**答** 新島村管内の小中学校の実情を説明願いたい。

**答** 現在、新島村管内では、「産休・育休」で4名の教員が休業中である。そのうち、新島中学校の育休代替教員が未配置の状況であるが、確保に向けて進めている。また、その教科についても、調整等を含め適切な対応をしている。



▲温泉井戸のポンプ小屋。残念ながら、現在片方は稼働停止中！

# 未来のための 議会改革を！

前号でお伝えした議会改革に、継続して取り組んでいます。



## 議会の開催時刻の変更

7月21日の臨時議会でお伝えいたしましたが、9月定例会より、議会の開会時刻を9時～16時に変更予定です（従来は10時～17時）。

式根島から新島の議場へと、議員だけでなく役場職員も参加しますので、往來の負担を減らすことや、予期せぬ滞在拘束を減らすことを期待しています。また、保育園児や小学生児童の子育てなどと議会活動を両立しやすくして、新しい議員の成り手を増やす期待もあります。



## オンライン併用の会合へ！

月1回程度開催している全員協議会ですが、7月7日からオンライン併用でも開催しました。

9時からの全員協議会に加えて、10時から『議員と一緒に考える会・観光関係者編』を開催しました。

事前のファイル共有や連絡方法など周辺のノウハウも模索しつつ蓄積しているところです。



## 小笠原訪問レポート

小笠原諸島日本復帰55周年記念式典に、6月22日～27日の日程で来賓として出席しました。

各島の議長・村長らと意見交換しながら気づいたことを共有したいと思います。



## 元気に働ける 家族層が多い 人口構成

ビジネスチャンスは多くて、若者は家さえあれば住みやすいようです。父島は新島と同程度の人口に対して村営の保育園児55人と多く、保育園以外にも社協が『ちびっこクラブ』という認可外保育施設（9時30分～11時30分の開園・定員40人）を運営しているほどです。



## 戸数は多くも 抽選殺到の 公営住宅

複雑に隆起した父島では平地が少なく、若郷地区くらいの面積に船客待合所と繁華街が集

中し、斜面の合間にも公営住宅が設置されている印象を受けました。

小笠原村では、持ち家率が17%、令和4年4月1日時点の都営住宅は父島で297戸、母島で96戸のとこの。

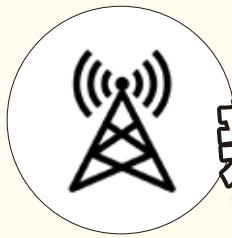
住宅用地の取得も難しく、建設コストも高くなっているとのこと。例えば



▲父島の都営住宅と村営バス停。傾斜地を造成して建てられている住宅も多い。

ば都営住宅では2万数千円台の物件でも、民間住宅では7万円台になること、さらに民間の家賃では10万円を想定して新築していることもあるとのこと。

議長 木村諭史



# 新島村議会中継システムが New relay system 新しくなります！

新島村議会中継につきましては、住民の皆さまをはじめ多くの方々が視聴してくださり、誠にありがとうございます。

議会の一般質問では、質問の内容および質問数を約1週間前に村へ提出しますが、村からの返答内容は議員には知らされないで、議員は返答内容に予測を立てて、数パターンの答弁を用意して本番に臨みます。

また、一般質問の方法には、「一括質問方式」と「一問一答方式」の2種類あります。前者は文字通り、質問内容を一括して質問し、相手側も一括して返答するといった質問方法で、質問回数も3回までと制限があります。後者は一つの質問に対して何度もやり取りが行われ、質問の回数制限もありませんので、比較的深く審議することができず。どちらが良いということではなく質問内容によってそれぞれ使い分けています。

そのようなルールのなか、緊張しつつも「村からの返答にどう対処するか?」「こんな返事を引き出せればOK」等々、頭から煙を出しながらも孤軍奮闘しています。

答弁の内容は「議会だより」でも確認できるのですが、紙面スペースの都合上ほんの少ししか伝えられません。本番でもっと多くのことを訴えているのですが、紙面では伝えきれない情報が満載ですので、ぜひ議会中継をご覧になってください！ひよっとしたら頭の煙も見えるかもしれません。

そんな新島村議会中継ですが、今年度より議事堂のカメラ、マイクをはじめ中継システムが新しくなります。

最近ありがたいことに視聴数が増えており、議員一同ますます気を引き締めて務めていきたいと思っておりますので、今後ともご

視聴のほどよろしくお願いいたします。

当日見逃した方は、新島村議会中継のオンデマンド配信（録画放送）をご覧ください。

※オンデマンド配信は開会日から1カ月程度かかります。  
(吉見 一之)

## 主な変更点

- ◇カメラの性能が良くなり(4K)より鮮明になります。
- ◇高感度ワイヤレスマイクになり、音質と集音性能が格段に向上します。
- ◇システムは最新式のものが導入され、カメラ切り替えや録画等の操作がワンタッチとなり、必要人員も1名で制御可能となります。
- ◇図などの資料を投影することができるシステムを計画中。(次ページ参照)
- ◇通信負荷も従来よりも抑えられますので、画面飛びや音飛びといった不具合が軽減される見込みです。

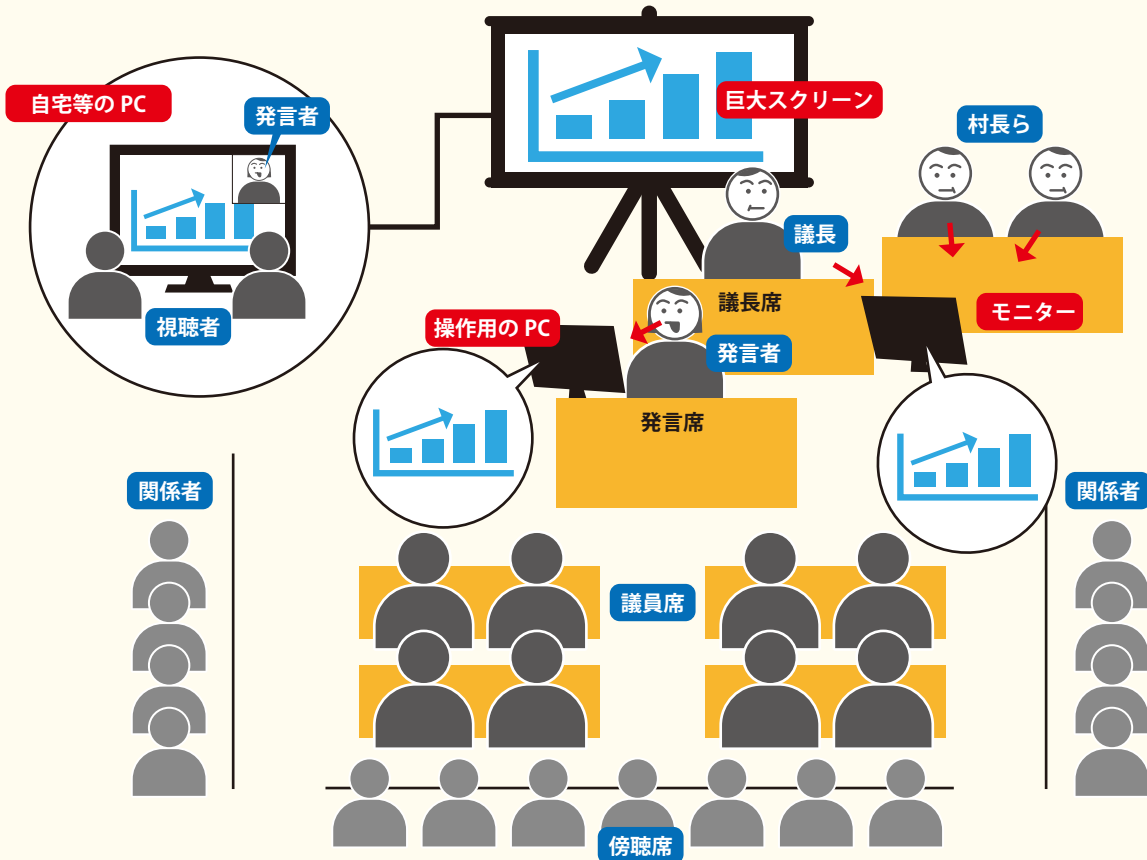




5月26日に、新しい中継システムの説明会が行われました。加えて、以下の図のようにモニターの位置や議中の資料投影について、すり合わせを行いました。



※



**導入にむけてすり合わせた中継システム概念図** (作図：木村 諭史)

- ・ 演台もしくは質問席に操作用の共有PCを置いて操作します。
- ・ 議長席裏側の大型スクリーンと、議員席下側のモニターで、議場に居る全員が同じ画面を見ることができます。
- ・ 中継用には、発言者のカメラ映像も入れ込んで配信できます。

広報委員が地域の皆さんにインタビュー!

## 今年の春から観光案内所で働く 「地域おこし協力隊」の3人にお話を伺いました。

(取材・前田卓秀)

Q1. 新島に移住するきっかけは?

去年、式根島・新島で堤防釣りにチャレンジしようと思い、はじめて来島しました。島内のみなさんが一見客かもしれない私に対してあたたかく接してくださったことに感動して、新島村の転職先を探し始めました。

Q2. 新島でハマっている事は?

仕事帰りや休日に堤防や港に行き釣りをすることです。釣りをやるといっても初心者なので、勤務後の時間に海へ行き道具や仕掛け、釣り方を教えていただく毎日です。わたしも徐々に道具を揃え、最近、海に竿を出せるようになりました。毎日学びがあり、釣れない日も充実しています!



牧野春美(まきのはるみ)プロフィール  
1992年生まれ、海に憧れを持つ神奈川県相模原市育ち。女子美術大学卒業。広告制作会社勤務/趣味で東京湾のアジ船の乗り子バイトを経て、今年の5月から新島生活をスタート。

Q1. 新島に移住するきっかけは?

理想の生活を求めて新島にきました。遡ると2013年頃から、知人の紹介で式根島でバイトしたり、毎年遊びに来たりしていました。自然豊かで、ゆったりした時間の流れ、外に出れば、島民同士でちょっと立ち話。子育てにもいい環境ですが、我々大人にとっても、限られた選択肢の中で気の向くままに過ごす。そんな生活を求めて移住しました。

Q2. 新島でハマっている事は?

アフターファイブ(17時退勤後の時間)を楽しむことです。近所のワンちゃんのお散歩に行ったり、漁船で海へ釣りに出たり露天温泉に入ったり、もちろん家族との交流の時間も。仕事が終わってからの、好きな事ができるこの新島LIFEにハマります!



河原誠(かわはらまこと)プロフィール  
1993年生まれ。高校卒業まで千葉で過ごし、中国の大学へ進学。大手IT企業に務めたのち、地域おこし協力隊を活用して新島へ。





永井絢女 (ながいあやめ) プロフィール  
 1994年生まれ、宮城県出身。大学卒業後はカナダとニュージーランドで働く。国内外のカフェ、ホテル、ゲストハウス、農園、牧場などを経験する。現在スペイン語を勉強中。

Q1. 新島に移住するきっかけは？

もともと移住先と起業先を探すために各地を旅していましたが、コロナ禍で海外に行けなくなり、国内を転々としていました。八丈島や屋久島などの離島で働いていた経験から島移住に興味を持ち、地域おこし協力隊制度を通じて新島に来ました。

Q2. 新島でハマっている事は？

毎日欠かさずコーヒーを淹れるようにしています。時間を見つけてお菓子づくりをしたり、近所の民宿の犬を散歩させたり、最近では近隣の島巡りをしたりと日々充実しています。

Q3.

「新島村観光案内所」ではどんな仕事をされていますか？

新島観光協会から引き継いでいる業務が多く、来島前の問い合わせや観光案内、キャンプ場・BBQ場の予約受付などです。



▲左から、河原さん、永井さん、牧野さん

観光協会の時と大きく違うのは、協会員という制度がなく、かなり全事業者様対象になる点です。また、宿泊先の斡旋はできず紹介だけ可能、などが大きな違いとなります。現在はお客様のニーズに対応すべく、島内事業者情報の確認を行い、HPや観光マップなどの情報の追加・更新に取り組んでいます。

## 【地域おこし協力隊とは？】

地域おこし協力隊とは、総務省の取り組みの一つで、課題を抱える地方自治体に人材を受け入れる制度です。

主な役割としては、任期中（概ね1年～3年）に地域に移住し、実際にそこで暮らしながら、さまざまな地域への協力活動を行うこととされています。

東京都の離島でもこれまで大島、利島、神津島、三宅島、八丈島などで募集されています。神津島には地域おこし協力隊から移住して、村会議員になった方もいます。

新島村では観光案内窓口を立ち上げるにあたり、地域おこし協力隊を令和4年12月28日から令和5年2月13日まで募集しました。たくさんの応募の中から、書類選考、オンライン面接、新島での面接を経て、3名の地域おこし協力隊が新島村の仲間になりました。

村は、地域おこし協力隊募集

要項の中で「お客様のご視線」を持ちながら村職員と協力し、観光案内の業務をつくってもらいたい。さらには、来島者が減りがちな冬場に向けて、観光だけではなく、島の人々との出会いや島の文化を体験したり、ワークショップやリモートワークでも快適に過ごしたりできるようにプランなど、島の新しい過ごし方の企画提案をしてもらいたい。」としており、新島のこれらの観光業務に大きな期待を寄せています。

4月から実際の業務が開始となった観光案内所では、これまでの窓口対応やキャンプ場の受付業務はもちろん、SNSでは観光情報の発信や、キャンプ場の空き状況、新島の施設見学レポートなども掲載さ



◀QRコードを読みこむと、新島観光案内所のツイッターを見ることができます。

れており、便利かつ新島を深掘りできるので、観光客のみならず村民にもフォロワーが増えています。インスタグラムのフォロワー数は約1500人、ツイッターのフォロワー数は約4000人です。（7月17日現在）村にとっては人材育成の場となり、協力隊にとっては業務を通じて村への貢献とスキルアップが図れる事業となっております。島民の皆さまにおかれましては、協力隊の方々が自分の特性を活かして島の課題解決に力を発揮できるように、暖かい目で見守っていただきたくお願い申し上げます。

小久保利佳

議会も新しいメンバーになって2回目の定例会。一般質問に立った議員も、各々の観点から質問をしている。住みよい島づくりのために、村民の声をよく聞いて、村民と共に良くしていくことが我々議員の仕事だと思う。

スピーカースで取り上げられている、地域おこし協力隊の方々は、慣れない島生活を送りながら、新島のために船客待合所内の観光案内所でお仕事をされている。道で会った時には、気軽に声をかけてあげてほしい。島外から来ている人たちが、新島のために頑張ってくれているのだから、もともと島の人間である我々はもう少し考えるべきではないだろうか？

青沼 弘